

第 3 4 回

2 0 2 6 びわこペーロン

DRAGON BOAT RACE IN BIWAKO

supported by DAIFUKU

大会要領

主催	びわこペーロン実行委員会
	びわ湖放送
主管	滋賀県ドラゴンボート協会

はじめに

ペーロン競漕は、滋賀県と友好関係にある中国の湖南省が発祥の地とされています。その歴史は古く、中国の戦国時代（紀元前4～2世紀）に遡ります。

日本では、江戸時代初期に長崎港を訪れた中国船が嵐に遭い、船員が海神に波風を鎮めてもらおうと手漕ぎ舟競漕を行ったのが始まりとされ、兵庫県の相生市や沖縄へも広まり年中行事として開催されています。滋賀では、湖南省から2槽のペーロン船が友好の証として贈られたことをきっかけに、1991年（平成3年）に「びわこペーロン大会」が初めて大津で開催され、今も日本一の琵琶湖を舞台に白熱のレースが繰り広げられる夏の風物詩となっています。

ペーロン競漕は近年、ドラゴンボートとしてスポーツ競技化され、アジアや欧米を中心に競技人口が1000万人を超えるなど人気が高まっています。

びわこペーロンでは誰もが楽しめるチームスポーツとして、“美しい琵琶湖を未来に”をスローガンに毎年実施しています。

私たちはこのペーロン競漕を通して、

- 1) 琵琶湖の水を守る心を育む
- 2) 地域の連帯と協力を深めるコミュニティづくり
- 3) いきいきと活躍できる心と体の健康づくり
- 4) 国際親善交流への寄与
- 5) 県内および他府県からの観光誘致

などに貢献することを主たる目的としています。

今年で36年目・第34回大会となります。

※2020年・2021年は新型コロナの影響で開催自粛

○催 事 名 第34回 2026びわこペーロン supported by DAIFUKU

○期 日 2026年8月22日(土)

【午前の部】8:00～12:00

20人漕ぎオープン、10人漕ぎ混合、10人漕ぎレクリエーション

【午後の部】13:00～17:00

10人漕ぎオープン、10人漕ぎ女子、20人漕ぎレクリエーション

○会 場 サンシャインビーチ(大津湖岸なぎさ公園・近江大橋西詰)

○主 催 びわこペーロン実行委員会、BBCびわ湖放送

○主 管 滋賀県ドラゴンボート協会

○後 援 滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市スポーツ協会・滋賀県国際協会・
びわこビジターズビューロー・大津市・大津市教育委員会・
朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・産経新聞社・中日新聞社・京都新聞社・
日本経済新聞社・共同通信社・時事通信社・FM滋賀・NHK大津・京都放送

○協 力 滋賀県漁業協同組合連合会・瀬田町漁業協同組合・JCHO滋賀病院・
滋賀県ボート協会・滋賀県カヌー協会

○参加内容 <20人漕ぎ> ・オープンの部(20)<午前> ・レクリエーションの部(8)<午後>
<10人漕ぎ> ・オープンの部(20)<午後> ・レクリエーションの部(8)<午前>
・混合の部(5)<午前> ・女子の部(5)<午後> ※()は募集チーム数

【オープン】 トーナメントにより順位を競う。男女問わず。

【レクリエーション】 初参加向け。びわ湖に親しみ完走を目指す。男女問わず。

【10人漕ぎ混合】 漕手が男女それぞれ4人以上。

【10人漕ぎ女子】 漕手が全員女子。

滋賀県民スポーツ大会をびわこペーロン大会と並行して実施します。
対象は、乗船者全員が滋賀県内に在住・在勤・在学または滋賀県出身者で、
10人漕ぎオープン・混合・女子の部に参加するチームです。
対象チームの第1レースのタイムにより、上位3チームを表彰します。

○競技内容 オープンの部は着順によるトーナメント方式(2回～4回出走)

混合・女子・レクリエーションの部はタイムレース方式(2回計測)

○コ ー ス 直線ワンウェイ300m 5コース設置

○チーム構成 < 20人漕ぎ>
漕手 20名（16名以上） 太鼓手1名 舵取り1名（補欠6名まで）
監督1名（漕手/太鼓手/舵取りを兼ねても可） 計23名

< 10人漕ぎ>
漕手 10名（8名以上） 太鼓手1名 舵取り1名（補欠4名まで）
監督1名（漕手/太鼓手/舵取りを兼ねても可） 計13名

※舵取りは適切な練度を有し、直進・停止・旋回の指示が的確に行えること。

なお、実行委員会からの舵取り派遣を希望することができる。

※同一選手が複数の部に出場することは認めるが、レース時間が重複しても変更対応は行わない

○選手資格 16歳以上で健康かつ泳力に自信のある者。（2026年1月時点）

13歳以上15歳以下についても下記条件に限り参加を認める。

<10人漕ぎ>漕ぎ手2名・太鼓1名の計3名まで

<20人漕ぎ>漕ぎ手4名・太鼓1名の計5名まで

○使用艇 実行委員会が用意したペーロン艇・太鼓を使用する。

○組合わせ 実行委員会で厳正に抽選し、2026年8月3日（月）に開催する監督会議で発表。

○表彰 各部上位3チームを入賞とし、各賞に表彰状、カップ、記念品を授与。

レクリエーションの部はタイム上位のほか特別賞や飛び賞あり。

○参加料 20人漕ぎ各部：1チーム70,000円（税込）

10人漕ぎ各部：1チーム40,000円（税込）

学生は先着5チーム限定で無料招待（詳細は別紙『学生チーム無料案内』を参照）

○申込方法 びわこペーロン公式ホームページにある参加応募フォームで申し込み。

申込締め切り：2026年7月26日（日）

※応募が募集数を上回った場合、申し込み遅かったチームからキャンセルさせていただく場合があります。

○中止判断 レースに問題のない程度の雨天は開催。

暴風雨など荒天により開催が困難な場合は主催者判断で中止する。

なお、大会を中止した場合も参加料は返金しない。

○警備及び救護 大津警察署と協議の上、会場周辺に警備員を配置。

湖上に関しては、警備艇1艇、監視（救助）艇3艇、報道艇1艇、
合計5艇のモーターボートを配置。医師1名看護師1名待機。

JCHO滋賀病院に事故に備えて受け入れ体制を依頼。

スポーツ傷害保険に主催者側が加入。

○レースについての諸注意

- ① 出場レースの30分前にはフローティングジャケットを着用し全員そろって招集場所に集合してください。レーススケジュールは競技の進行状況や運営上の判断により前倒しまたは遅延することがあるため、公式アナウンスにご留意ください。
- ② チーム全体が、レース開始時間に遅れた場合は、出場辞退とみなします。
- ③ レーン番号・乗降口・艇の番号は固定されています。
(例：1レーンのチームは1番の乗降台から1号艇に乗り、レース後1番の乗降台へ向かう)
- ④ レーンは事前の抽選により定めます。決勝戦のみレーン抽選を行います。
- ⑤ スタート地点へは速やかに向かってください。スタートへ向かうチームは太鼓を鳴らさず岸側を通して、レースの邪魔にならないようにしてください。
- ⑥ レース終了後は速やかに乗降場所に戻ってください。後続のレース艇に注意してください。
- ⑦ 監督は競漕規則を把握し、その内容を周知徹底してください。
- ⑧ 参加者全員スポーツマンシップをもって、大会に臨んでください。

○その他

- ① びわこペーロン大会運営委員長は、大会運営上当大会の総合責任者として、天候の急変など緊急を要する場合に現場判断をし、競技の進行について指示・通達します。
- ② パドル・フローティングジャケット・バチは、実行委員会で準備します。
日本ドラゴンボート連盟の規格に準じたマイパドル・マイフローティングジャケット・マイバチの持ち込みは認めます。
- ③ ユニフォームは自由ですが、できる限りチームで統一してください。
競技にふさわしい服装（Tシャツ等スポーツに適したもの）を着用してください。
- ④ 乗降場所や水上では必ずフローティングジャケットを着用ください。
- ⑤ 乗艇の際には裸足、またはウォーターシューズ（マリンシューズ）を着用してください。
脱げやすいサンダル等の着用は不可とします。
- ⑥ 艇内への座布団・敷物、飲料の持ち込みを認めます。
- ⑦ 手袋の着用を認めます。
- ⑧ 体調管理に十分ご注意のうえご参加ください。
- ⑨ ケガ等に対しては応急処置を行います、その後の責めは負いかねますのでご了承ください。
- ⑩ 参加チームの飲酒は厳禁とします。飲酒が確認されたチームは失格とし、以後のレース出場も認めません。
- ⑪ びわ湖への飛び込みは禁止です。また転覆の恐れがあるため、艇上でむやみに立ち上がらないでください。
- ⑫ チームテントの設営は、大会運営の妨げにならず、公園を訪れる方々の迷惑とならないよう、マナーを守って行ってください。
- ⑬ バーベキューを行うチームは事前に申告のうえ、別紙「BBQ実施規則」に従ってください。
- ⑭ サンシャインビーチ駐車場への駐車は、20人漕ぎエントリーチームは2台まで、10人漕ぎエントリーチームは1台までに制限します。なお、駐車料金は各参加者のご負担となります。
- ⑮ 大会会場でのドローンの飛行は原則禁止とします。
- ⑯ 当日は、大会事務局、びわ湖放送、その他報道機関による取材・撮影が行われます。
撮影した画像・映像は、びわこペーロンの広報活動や各メディアでの報道で使用される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2026年5月26日<改定>

2026年6月19日<改定>（補欠人数の修正）